

わたらしき 広報

'89
11

平成元年

発行／度会町役場(〒516-21 三重県度会郡度会町棚崎1463-2 ☎05966-2-1111) 編集／企画課 印刷／文化印刷有限会社

No.292



近い秋、 遠い秋

日を追うごとに秋が深まる。
やわらかい日射しをうけて、風が
きらめく。

水引草の行儀よく並んだ朱が、間
近の視野を染める。

ちょうど、ころよい日だまりとな
つているのか赤トンボの群れが飛び
かっている。

すき透つた羽が光を反射するたび
に、澄みきつた中程の視野が朱色に
染まる。

ここ役場から望む、下久美の川原
には蓼の紅葉が広がり始めた。

遠くの視野を、秋を知りつくした
大人の色が染める。

疲れたのか、ススキの葉に赤トン
ボが羽を休めた。

秋は朱色がよく似合う。

町のうごき

平成元年9.30現在

人口 男 4,473

計 9,253

出生 9 転入 17

女 4,780

世帯数 2,153

死亡 7 転出 4

10月22日

福祉のつどいに二〇〇人の輪

ボランティア事業の指定を受けて

「福祉のまちづくり」を進めよう！…でも「福祉のまちづくり」ってどうしたことだろう。

あんまりむずかしく考えずに、もっと単純に考えてほしい。

人はみな幸福でありたいと願う。この幸福感を覚えるもののひとつに、社会的にハンディキャップを持つ人々が、幸せに共に暮せる温かい地域社会がそこにあら、ということがある。

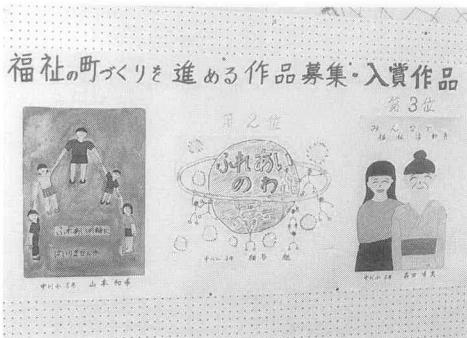
福祉を考える。それは、いつかは家族が、いつかは自身が出会うことであり、またそれは、「『老い』を見つめることであり」、「障害を受けとめ、融和して人生

を高めること」でもあるでしょう。

福祉 それは 幸せのこと……町民のみなさんに柔軟な感覚で関心を深めていただこうと、今年は、県下町村では初めての事業、厚生省の「福祉ボランティアの町づくり事業——ボランティア事業」が町社会福祉関係者の手で展開されています。(国・県・町それぞれ八〇万円と事業主体である社福協会一〇万円、計二五〇万円の補助事業)

この計画のなかの交流推進事業として、十月二十二日(日)町民体育館で「福祉のつどい」が楽しく繰り広げられました。





気軽に 温かい声を

十時に始まつた小学生による

福祉ボスター・標語の表彰に続
いて、全国社会福祉協議会、福
祉さんによる講演それに、度
会学園、老人福祉委員、つくし
の会、あざみの会、平生・牧戸
の大正琴のグルーピ、おにぎり
の会、オニオンサークル、民生
委員、県福祉事務所・保健所・
児童相談所の協力で、約三百人

の参加者を集めて、保健と福祉
ボスターの部

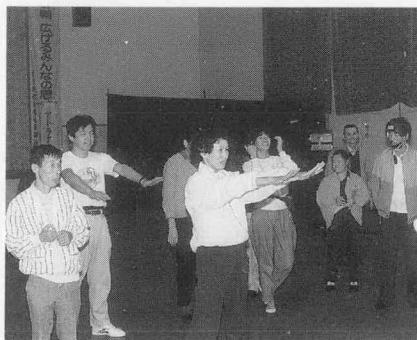
入賞作品を表彰

の相談、福祉バザーに劇、踊り、
合奏、合唱など盛りだくさんの
催しを終日、一緒に楽しみまし
た。

——まだまだ多くの人に知っ
てほしい、もっと気軽に参加し
てほしい。みんなの温かい声
をお待ちしています。(度会町社
会福祉協議会の事務所は、役場
玄関前、向って右側)。



あなたへ



佳作

○さしのべた手から伝わるあ
たかさ(喜多実)

○ボスターの部

三位 門野早希(一小5年)

◎町中を笑顔でつなぐボラン
ティア

二位 岡谷優美(小川小6年)

◎町中を笑顔でつなぐボラン
ティア

二位 細谷 旭(〃)

三位 森田有美(〃)

『標語の部』

○福祉の輪広げるみんなの思
いやり

○福祉の手しっかりとぎつて
明るい社会(山口由美)

○手をとつてみんなでやろう
よボランティア(世古伊澄)

○幸せはみんなでわけあうや
さしい心(世古智美)

○ゆたかな気持ちだれにでも
共に学べるボランティア

(小嶋淳紀)

○いたわりは心と心つなぐか
け橋(内山理)

○小さい思いやりでもみんな
がすれば大きな輪(坂本恵
理)



…第15回町体



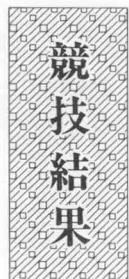
男子の部			女子の部		
男子の部	女子の部	男子の部	女子の部	男子の部	女子の部
一位 棚橋	一位 大野木	一位 新三重精工A	一位 度会養護学校	一位 中川	一位 小川郷
二位 大野木	二位 棚橋	二位 度会中学校	二位 東出林業	二位 内城田	二位 中川郷
三位 平生	三位 南中村	三位 職場対抗リレー	三位 一般	三位 小川郷	三位 内城田

1' 1' 1'	1' 1' 1'	1' 1' 1'
9" 8" 7"	6" 5" 3"	22" 22" 19"
52 57 63	43 25 58	91 68 58

男子の部			女子の部		
男子の部	女子の部	男子の部	女子の部	男子の部	女子の部
一位 棚橋	一位 畑中	一位 西田英男	一位 小川郷	一位 中川	一位 小川郷
二位 横峰クラブ	二位 森見学	二位 中川	二位 内城田	二位 内城田	二位 小川郷
三位 立花	三位 亀田勝也	三位 内城田	三位 小川郷	三位 小川郷	三位 内城田

1' 1' 1'	1' 1' 1'	1' 1' 1'
9" 5" 5"	8" 4" 3"	156" 54" 50"
40" 28"	16 00 11	97 87 65

1' 1' 1'
159 99 48



男子の部
クラブ・一般対抗リレー

男子の部

棚橋

横峰クラブ

立花

スポーツ少年団対抗リレー

中川

内城田

小川郷



かん声と快い汗につつまれた



第十五回を数える町民体育大会。

思えばいろいろなドラマがありました。

十五年前に活躍したランナーの二世が、今では高校生となつて観衆を沸かす。

延二千七百人が参加した今年の町体は、十月十日体育の日、度会中学校のグラウンドいっぱいに繰り広げられました。

胸おどる各対抗リレー、趣向を凝らした婦人会、老人会の種目の他に、町長らが演ずる仮装行列が加わり楽しいふれあいの場となりました。

父ちゃんは 明日
会社で笑い者にあつやうぶ



俺達の正体は
バレていないだろうな.....



人権週間に考える

▼同和地区はなぜでききたか

今日の同和地区（被差別部落）は、豊臣・徳川の時代にかけて形成されてきたものとみられます。戦国時代を統一した豊臣秀吉は、検地と刀狩りによつて武士と農民とに分け、封建的な身分制度をうちたてました。さら

に江戸幕府は、民衆をおさえて政治をやりやすくするために武士、百姓、町人を士・農・工・商という身分に分け、その下にさらに低い身分を定め、このことを百姓や町人に知らせて、不満をそらそらとしたのです。

こうした底辺に位置づけられた人たちはおなじ日本人でありながら、分裂支配政策により住居、職業、結婚から服装や人々との交際にもとまで、生活のすべてについてきびしい制限を受け、世襲的に差別されました。

その結果、ある地域に生まれたということだけで経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれ、謂れのない偏見によつて差別され、この基本的人権が侵害されているのが同和問題であります。

同和問題は政治的につくられ、部落差別を強化したのは農民か配者が、被差別身分を固定し、部落差別を強化したのは農民か

ら重い年貢をとりたて、封建制度を維持することを目的としたためです。

同和地区は

政治的につくられた

すべての人は、人として尊重され、自由に、平等にして幸せに暮らしていく権利（基本的人権）を持っていましたが、この権利は人間が長いみちのりをかけ築き上げてきた成果なのです。

日本国憲法は、この基本的人権について「侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる」ものとして規定しています。

しかししながら、ある地域に生じたことだけでは経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれて、謂れのない偏見によつて差別され、この基本的人権が侵害されているのが同和問題であります。

茶の実句会抄 野田翠楊選
水澄むやひと日ひと日を大切に
ギズスして焦立つ日々や唐辛子
棄てる他術なき稲も刈りてをく
ギズスして焦立つ日々や唐辛子
棄てる他術なき稲も刈りてをく
立花 北村 伸子
柳 奥田 鈴代
立花 登 春子
麻加江 北村 榛江
立花 羽根 翠嶺
山小屋の土間に増えたり蟻地獄
立花 羽根 翠嶺
吉野越へ吊りて干さる、唐辛子
立花 羽根 翠嶺
胡麻はじく音のしづかに猫ねむる
立花 羽根 翠嶺
大久保 浦田 フユ
麻加江 中嶋 久子

人権と同和問題

かって県が実施した「人権に関する意識調査」の結果によると、ほとんどの人が、「同和問題」や「同和地区」を知っていると答えていますが、同和地区がなぜできたのかについては、「江戸時代の支配者によって、民衆を支配する手段として政治的につくられた」と正しい知識を持つている人は、全体の半数にも満たなかったと報告されています。

昭和四十年同和対策審議会から、同和問題解決の基本の方策に関して答申が出されました。この答申を踏まえて制定された同和対策特別措置法等に基づいて、過去二十一年間にわたって、国・県・市町村が一体となつて問題解決のためのいろいろな施策を実施してきました。

その結果、地域における環境や住宅等の改善、農業基盤の整備には、一定の成果がみられ、高校進学や就労についても相当に向上してきました。また、人々の心の中にある誤った考え方や偏見は少しずつ取り除かれ、人権意識は高まりつつあります。

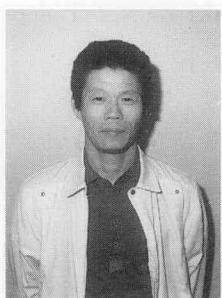
同和問題は政治的につくられ、まだまだ、差別事象が続発しています。このように江戸時代の支配者が、被差別身分を固定し、部落差別を強化したのは農民か

いる現実は、個人の意識や社会の意識の中に根強い差別が残っていることの表われでもあります。

同和問題とは、居住している所や、その地域の出身であるということだけで、いろいろな偏見と差別を受け、憲法で保障されている基本の人権を著しく侵害されている問題です。

私たちは親を選ぶことはできません。同時に生まれれる場所も選ぶこともできません。「部落」に生まれ、育つたということだけでは、口ではいえない社会的重荷を背負わされた人々が無くならないかぎり、私達の地域にも、本当の平和はおとずれないのです。

オメデトウゴザイマス。
これからも、町内のスポーツ普及に力をかしてください。



広報文芸

六十歳以上というのが参加条件のユニークな大会（シニアソフトボール大会）が、九月三十日（十月二日滋賀県で行わされました。当町からは、後藤信光さん（上久具）がオール三重の代表として出場されました。

結果はベスト4。来年は、今年以上の成績を期待しています。

彰表

昭和五十二年四月から現在に

飽食時代の栄養不足



アメリカ人は肉ばかり食べてるので腸が短く、便は兎のふんに似ている。これに対し日本人は植物性のものを主体とした食事なので、腸は長く便量も多い、とかつて言われたことがありました。実際には、人種の差より個人差のほうが多いようです。

しかし、この話は、実は昔の日本人が食物繊維の多いものをたくさんとついたことを意味しているのです。

三十年間に

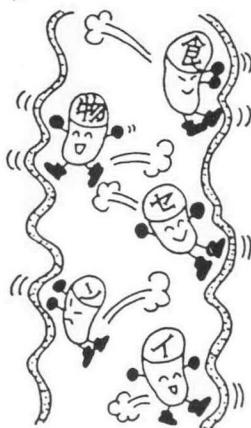
二割減った摂取量

ある調査によりますと、昭和三十年代の食物繊維の摂取量は、一人一日二十五グラムだったのが、昭和六十年代には二十グラム、つまり三十年間に約二〇%も食物繊維のとり方が減ってきましたということです。

食物繊維そのものは、消化管

糖尿病などの予防効果も

くなり、食物中に発がん発質があると腸壁に長く接触し、粘膜を傷つけてがんが発生しやすくなると考えられているからです。



食物繊維

腸を刺激し 便通を促進

血糖やコレステロールを抑えるため、糖尿病や動脈硬化の予防にも効果があるとされています。

しかし、逆にカルシウムや鉄など大切なミネラルの吸収が不十分になることもありますので、とり過ぎに注意しましょう。

来ごとかと国立養殖研究所（玉城町豊田）にお願いして岡崎登志夫先生（農学博士）に鑑定を依頼。ここでようやく確信を持てました。先生の話により体

見直されました。つまり、大腸がんの発生が非常に少ないアフリカの原住民と、逆に大腸がんの多いヨーロッパ人の食事を比べると、原住民のほうが当然食物繊維のとり方が多いといふのです。食物繊維が少ないといましました。実際にには、人種の差より個人差のほうが多いようです。

水に溶けるものとがあります。便量を増やすのは水に溶けない繊維のほうが有効ですが、水に溶ける繊維も腸内の細菌によつて分解され、ガスを発生し、腸を刺激してその運動を活発にさせます。このため、両者とも便通を促進する作用があると考えてよいでしょう。

また、食物繊維には栄養素などを吸着して、その吸収を妨げる作用もあります。この作用は、

月十二日）投あみにサケがかかった。との情報が入りました。北川俊一さんから“昨夕刻（十月十二日）投あみにサケがかかった。”との情報が入りました。早速、訪問して拝見。まぎれもなくサケらしい。（顔に何んとも言えないスゴミがあつて、サケのようであつて、本当にサケか断定できない。（後でこの頃のオスサケの特徴と知る。）

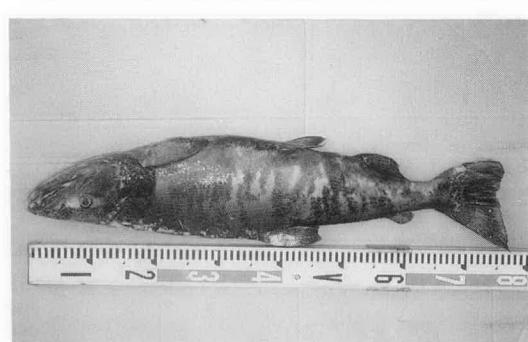
これは、宮川の有史以来の出

ザケが宮川に入ったのではとのこと。（その後、宮川でも試しにサケを放流した、このサケが戻ってきたのかも知れないとの情報もあり、サケのふるさと論は、まだベールに包まれたままです。）

ピックリ 田口でサケがどれた



親潮が南下しているため、迷い





余暇時代にむけて 豊かさとひとりの創造

現代の青年は、学生にしろ勤めをもつてゐるにしろ、独身貴族といわれるほど、海外旅行や大型ショッピングを楽しみ、ドライブやスポーツなど、レジャーの代表選手と見られています。

仕事はレジャーをするための手段という意識が強く、余暇こそ大切と考える人が多いということから、現代の青年を「新人類」と呼んだりします。

余暇を大切にする 意識が高い

確かに、旧世代に比べて、余暇を大切にしようという意識が高いことは事実です。しかし、多くの若者が、勉強や仕事をしないでレジャーばかりしているわけではありません。若者がすべて新人類であるかのようにいふのは、適切ではありません。

大半の青年は、勉強や仕事に精を出し、その後にレジャーを楽しんでいると見るのが

妥当と思われます。ただ、レジャーの過ごし方で若者に共通する点が、いくつかあることは事実です。

何をしたいか 見極める

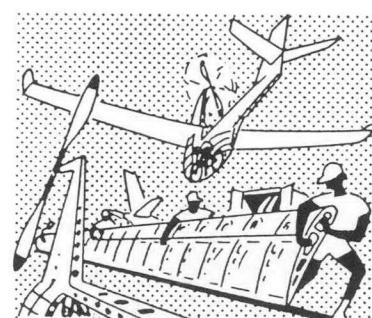
それは、極めて日本的なのですが、時間はいくらでもあるのに何をしたらいつか分からぬ

■余暇とライフ・ステージ■

青年時代 一生やれるものを探す

そのためです。もう一つの特徴は、そのだけ楽しめばよいという意識が強い、つまり刹那的なこと

方があが分からぬ



人生を豊かにする 趣味がある

趣味を青年期に獲得することができる、その後の人生は、一段と豊かなものになることは間違ひありません。

そのためです。たき火を見たことのある子供が増えています。たき火というと、キャンプ場でのキャンプ・ファイヤーを連想する子も多いでしょう。

最近の道路は車の通行が頻繁で、しかも舗装されていますから、垣根の曲がり角での落葉たきはできないわけです。



であるといわれます。そうであればこそ、余暇についても、自分はいったい何が好きなのかを見極め、本当は何をしたいのかを真剣に考えてみるべきだと思います。

学校に行く道すがら、時間

を気にしながら、たき火にあたっている子供たち。『垣根の垣根のまがりかど……』と歌いながら、しもやけの手をたき火にかざし、前が温まるところ右をして背中を温めます。

火件数の一〇・三%（昭和六十二年度）を占めています。

火災警報や乾燥注意報が出て

いる時や風の強い時はたき火

をしない、たき火をする時は

水の入ったバケツや消火器を用意する、などの注意が必要

です。

さて、十一月九日から十五日までの七日間

秋の全国火災予防運動が行われます。この運動は、從来十一月二十六日から行われていま

したが、今年から「一

九番の日」の十一月

九日を初日として実施され

ることになりました。

今年の標語は「おとなりに

あげる安心 火の始末」です。



たき火

でも、たき火とひと口にいっても、俳句の季語には、庭たき火、山たき火、野たき火、

最近の道路は車の通行が頻繁で、しかも舗装されていますから、垣根の曲がり角での落葉たきはできないわけです。

我が国では昭和二十四年以降、毎年十二月四日から同月十日までの一週間を「人権週間」と定め、広く国民の間に人権尊重の思想の普及高揚を図ることを目的としています。

（水） 午前十時～午後三時
場所 中央公民館
※当日は、町の相談員さん（井戸本、小林の両氏と橋村行政相談員）の他に法務局の係官が来町し、相談に当たります。悩んでいる方は、参加してください。

「週間」がやつてきました。この人権週間は、一九四八年（昭和二十三年）十二月十日パリで開催された第三回国際連合総合において、「世界人権宣言」が採択されたのを記念して設けられたものです。

我が国では、昭和二十四年以降、毎年十二月四日から同月十四日までの一週間を「人権週間」

人權週間

12月4日
12月10日



12月17日

チバレー大会に
参加しませんか

● 教育委員会が主催し、体育指導委員会が主管する第一回町民ビーチバレー・ボール大会が開催されます。

たくさんの方々の参加をお待ちしています。

● 日時 平成元年十二月十七日(日) 午前八時三十分から

● 会場 度会町民体育馆

● その他詳しいことは、度会町教育委員会へお問い合わせください。



● 日時 平成元年十二月十七日(日)
● 会場 度会町民体育館
● その他詳しいことは、度会町教育委員会へお問い合わせください。



募集自衛隊員

詳しいことは、県保健予防課
0592・24・2335へ
お問い合わせください。

九月中に届出のもの

● 日時 法人及び個人白色申告
われております

年末調整説明会

年末調整説明会

詳しいことは、役場町民課又は、伊勢募集事務所（☎ 059-6・23・3880）までお問い合わせください。

おくやみ

参加しませんか
健康ウォークに

年末調整説明会

防衛庁では、来春中学校を卒業されるみなさんをお待ちしています。

入隊後四年で教育を終了し、高等学校卒業資格が取得でき、三等陸・海・空曹に昇任します。

詳しいことは、役場町民課又は、伊勢募集事務所（☎0596-23-3880）までお問い合わせください。

詳しいことは、県保健予防課
0592・24・2335へ
お問い合わせください。

山本	岡野	田畠	中谷	奥村	岡村	山下	氏
榮子	梅太郎	煙	覚次	政造	専松	實郎	名
くす							
63歳	92歳	71歳	84歳	85歳	37歳	77歳	年齢
脇出					棚橋	棚橋	字名
				和井野	五ヶ町	大野木	字名
		棚橋					

上村	みなみ	坂井	中村	氏
橋本	永井	西岡	登	奈央
幸恵	慎也	大西	若菜	徹也
正徳	良人	福井	宏華	保人
長女	長女	沙貴	崇裕	父名
注連指	日向	康之	正彦	繕柄
	和井野	次男	眞	字名
	棚橋	敏	長男	
	大野木	二女	長女	
	長原	長男	日向	
	日向	二女	和井野	

午前十時～十二時まで、個人青色申告者 平成元年十二月一日
午後一時三十分～三時三十分まで。
場所 玉城町農村環境改善センター